

## 学校関係者評価書

学校名 鳥栖市立鳥栖西中学校

### 1 学校関係者評価実施状況

- (1) 学校関係者評価実施日 令和2年 3月11日(水)
- (2) 評価者 学校評議員
- (3) 資料(評価の参考とした資料)  
学校評価結果表 学校評価アンケート集計結果

### 2 評価

#### (1) 学校運営について

##### ①目標の妥当性及び達成状況

学校では、安全で安心して過ごすことができていると回答した生徒は94%にのぼり、昨年度同様高い数値を維持している。また、保護者も86%が「安心・安全な学校」づくりに取り組んでいると回答しており、昨年度よりも3ポイント向上した。学校運営に関しては、概ね向上し達成できた。

##### ②学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

教職員の働き方改革への意識向上やペアやチームで教育活動に当たる必要性をより明確に認識するなど、学校運営に係る取組は成果を上げている。引き続き、保護者や地域の要望についても即対応し、信頼ある学校づくりに努める必要がある。

##### ③改善方策の適切さ

地域や保護者の意見に耳を傾け、地域に信頼される学校になるように継続した職員の意識改革を図っていき、生活規律や児童生徒理解に関しても小学校との継続性をさらに深めることが望まれる。

#### (2) 教育活動について

##### ①目標の妥当性及び達成状況

学力向上に関しては、学習状況調査の結果では、県平均よりやや下回っている。しかしながら、4月と12月で比較可能な教科である国語と数学を見たとき、1・2年生ともに各教科のほぼすべての観点で前年度より向上している。生徒指導・いじめへの対応については、差別やいじめは許さないという意識を持ち、相手を思いやり、受け入れることができていると答えた生徒は97%と高い数値を示した。人権やいのちを大切にする取組を積極的に行っていると答えた保護者は、76%であり、昨年度より3ポイント向上している。

##### ②学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

学力向上に係る教育活動について、81%の生徒が毎日の授業が分かると回答した。授業研究会や校内研修を通して教科における活用力を明確にし、授業構成を見直し共通実践を進めることができた成果と考える。心の教育についても、体験活動を通して成長できたと答えた生徒は86%となるなど、教育活動全般で高い評価を得た。今後も、継続して充実した教育活動を行うことが求められる。

##### ③改善方策の適切さ

西中三訓(挨拶、時間、清掃)については、ほぼ定着してきている。今後は、学力向上、特別支援教育の充実、小中一貫教育の推進についてさらに研究を進め、改善の努力を一層すべきである。

### 3 その他学校に対する意見や提言

生徒の評価と保護者の評価でズレが見られる。学校としては、保護者へのアピールや情報発信を定期的にする、その差が少なくなるだろう。特別支援教育について、普通教室にも配慮が必要な生徒がいるだろうが、ここでも小中の連携をし、当該生徒が活躍していると感じるような場面を与えるなど、教育の基本を忘れないようにしてもらいたい。